

令和 5 年度第 2 回松江市立法吉小学校学校運営協議会会議録

1 日 時

令和 5 年 10 月 31 日（火） 13：30～14：10 授業視察
14：20～15：20 協議等

2 場 所

法吉小学校 会議室

3 出席者

- (1) 委 員 若林三成会長、井田良江副会長、木次三八郎委員、安達卓生委員、
松浦ぎん子委員、岩本千代委員
- (2) 事務局 糸賀校長、常松教頭、松本主事、土肥地域学校協働活動推進員

4 議 題

- (1) 会長あいさつ
- (2) 学校運営協議会研修会（7 月 14 日）報告
- (3) 全国学力調査の結果・考察から
- (4) 児童の様子等
- (5) その他
- (6) 校長あいさつ

5 議事の要旨

- (1) 会長あいさつ
若林三成会長より
- (2) 学校運営協議会研修会（7 月 14 日）報告
糸賀校長より 7 月 14 日にオンラインで参加した学校運営協議会研修会について、資料を基
に説明があった。
- (3) 全国学力調査の結果・考察から
糸賀校長より全国学力・学習状況調査の結果について説明があり、委員からの意見を聞いた。
- (4) 児童の様子等
- (5) その他
事務局より
- (6) 校長あいさつ

6 会議経過

- (1) 若林三成会長よりあいさつ

(2) 糸賀校長より、全国学力調査の結果・考察について説明があった。

《下記、委員からの意見》

- ①昔仕事でこのような調査の結果分析をしていたが、翌年の結果もそんなに変わらない。
なぜなのかと思ったが、子どもの生活を変えていかなければ、学力の結果も変わらないのではないかと思った。昔は先生の言われたことを聞いて、記憶したり、紙に写したりが当たり前だったが、今は当たり前でなくなった。今の子どもたちには、自分で考え、計画を立て、振り返ることが大事なのではないかと思う。
教科についてだけではなく普段の生活の中で、自分で考え、行動し振り返ることを身に付けていくことが、子どもの力を付けていく。学校だけでなく、家庭でもそんな力を付けていくことが大事だということを保護者にも理解してもらえたら良いと思う。小さい頃から物事に一生懸命取り組むという力を付けていくことが大事ではないかと思う。
- ②タブレットを使った授業を参観したが、タブレット映像だけではなく、自分の手を使って実践することで、何かのタイミング等で発見できたりすることがあるのではないか。
物事の理解をすぐできる子とそうでない子の個人差があると思うので、機器を使って学習することも良いと思うが、素材そのものを見て、触ってみて、いろいろな見え方や感じ方があることを体験することが大事だと思う。
- ③島大生と仕事で関わっており、その学生たちの学部は地域で活躍する人材を育成するために開設されたもので、入試もプレゼンを行って評価される。学力で評価されるだけでなく、自分でやりたい事を自分で見つけて進んでいくことが大事であると思う。
- ④タブレットで何でも調べられるので、タブレットに頼りすぎていると思う。辞書で調べることをしなくなり、辞書の引き方を忘れてしまうのではと心配である。
- ⑤子どもにとって大事なことは、いろいろな体験。困難や失敗をしながら結果が出るまでの過程が大事である。その体験により、社会を生き抜くためにいろいろな力を身に付けなければならない。調べたら結果がすぐ出るネットに頼ってばかりではいけない。

《学校側より》

- ・間違ったり、失敗することを恐れる子どもが多い。
- ・すぐに正解を知りたがる子どもが多い。辞書等で調べるように促しても、面倒くさいと楽な方、便利な方に行く傾向がある。

7 事務局より

- ・全国コミュニティ・スクール研究大会 by 鳥取県南部町（12/15(金)）について、二次案内が届き次第委員宛てに連絡する。